

交通バリアフリー教室 in 水戸市立双葉台小学校

茨城運輸支局では、令和5年9月28日（木）に水戸市立双葉台小学校の4年生78名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和5年9月28日（木） 9:25 ～ 11:50
- 場 所：水戸市立双葉台小学校
- 参加者：4年生 78名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕、
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- グループ発表
(体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと)
- まとめ



参加者の感想

- ・車いすの人は、とても大変なんだな、むずかしいんだなと思いました。
- ・車いす体験をして、助けてくれる人がいて申し訳ないと思うけど、うれしいし、すごく安心する。
- ・車いすを押してスロープを上るのは少しこわかったけど、上がった後に感謝されるとうれしいと思った。
- ・手伝ってもらえると、すごくうれしい気持ちになるんだと思いました。
- ・車いすの人も大変だけど、介助する人も大変だから助け合ってとても大切だなと思った。
- ・お手伝いするときは笑顔が大切だと思った。
- ・「大丈夫ですか」と聞くのではなく「お手伝いしますか」「押しますか」などの声かけをするとういと思いました。
- ・バスに乗っているときに車いすの人がいたら手伝おうと思った。



車いす体験①



車いす体験②



グループ発表